

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 鶴ヶ島っ子のふるさと意識の醸成について (20分)</p> <p>広報つるがしま7月号の表紙に、めぐみ幼稚園の園児たちが、サツマイモの苗植えをしている写真が載っていました。土いじりをしている園児達の表情は、真剣でもあり笑顔もあり、みんな楽しそうに見受けられました。こうした子どもの頃に生活しているふるさとでの体験は強く心に残るものであります。「農」、「自然」、「歴史」などその地域で培われてきたものに触れ、それを体験することは、鶴ヶ島の次世代の担い手である子ども達にとって、思い出とともに、ふるさと意識として深く心に強く刻まれるものであります。</p> <p>私たちの子どもの頃は、まだ、自然が多く残されており、毎日のようにみんな外で遊びまわりました。公園や神社の境内で遊んだり、夏休みには近所の森に行ってクワガタ取り、原っぱではバッタ取りをし、川や池でザリガニや魚取りをしたり。そうした思い出は、ふるさと意識として、地域への愛着となっています。しかしながら、最近では子ども達が外で遊びまわっているところをあまり見かけることはありません。身近な自然が少なくなっていることやテレビゲームの普及や塾通いの低年齢化など様々な社会情勢、環境の変化などの影響もあるのですが、子ども達が自らの仲間同士で、そうしたふるさとを体感する機会が少なくなっているのが現状です。</p> <p>次世代を担う子ども達に、ふるさと鶴ヶ島を色々な角度から体験させることは、郷土愛を育み、心の豊かさを培うことにつながり、将来の鶴ヶ島のためにも大切なことであると思います。自然との触れあいだけでなく、鶴ヶ島の歴史や文化の継承の観点からも、子ども達が積極的にそうした環境に触れていく、体験していく機会をつくっていくことが、鶴ヶ島の将来に大切な種を蒔くことになるのではないのでしょうか。</p> <p>こうしたことを踏まえて、市の子ども達に対してのふるさと意識の醸成に向けた取り組みについて質問いたします。</p> <p>(1) 夏休みなども含め、ふるさと体験学習、事業について (2) 市の歴史や文化との触れあいについて (3) ふるさと意識の醸成に向けての考え方について</p>	<p>市長 教育委員会委員長</p>

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>2 子ども達の安全安心について (20分)</p> <p>6月に東京都練馬区大泉で、集団下校時の子ども達が、小学校の校門を出たばかりのところで、刃物を持った男に切りつけられるという事件がありました。近くにいた交通指導員が、身をもって子ども達を守ったため、怪我の程度も軽く最悪の事態は免れました。この数日後には、当市から数百mの坂戸市の公園で、似た事件の報道がありました。</p> <p>私は昨年9月議会で、「防犯対策について」と題して、防犯、特に夏に増加傾向のある痴漢等の性犯罪の防犯対策について質問をいたしました。こうした、弱者を対象にした犯罪が跡を絶たないのが現状です。公民館に掲示される不審者出没や痴漢出没などの防犯情報も、公民館に行くたびに新しい事件の情報を目にします。先ほどの事件のとおり、最近では、見ず知らずの人間がいきなり刃物で切りかかるような予期せぬ凶行が多発しています。地域でも、積極的な防犯対策を行っており、青少年健全育成協議会による防犯パトロールや父兄による登下校時の見守りなど、地域ぐるみで子ども達を犯罪から守る取り組みが実践されております。</p> <p>こうした状況を踏まえて、市としての子ども達の安全安心への取り組みについて質問いたします。</p> <p>(1) 市内における不審者や犯罪の被害情報の把握について (2) 登下校時の防犯対策について (3) 子ども達自身が身を守るためのとるべき対処法について (4) 市の防犯対策の考え方について</p>	<p>市長 教育委員会委員長</p>
<p>3 行政のスリム化・健全化について (20分)</p> <p>前回の6月議会で、職員力・組織力向上に向けた取り組みについてと題して、職員能力、モチベーションの向上、組織全体の機能向上について質問いたしました。今回は、その延長的な要素を含めて質問いたします。</p> <p>行政のスリム化・健全化については、それぞれの自治体で、人口、規模、地理的条件、重点政策など置かれている条件が異なり、数字の上では優劣を比較することが難しいことから、その数字をもってスリム化という視点で捉えていくのではなく、本当に市民のために</p>	<p>市長</p>

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>なるような、市民が益するような改善という視点から、市職員の意識改革をどう進めていくかに重きを置くことが重要であると考えます。</p> <p>権限移譲による事業の拡大や見直し、法改正等による制度の変更や新規事業の増加への対応など、現実として間違いなく増え続けている事務量に対して、限られた職員で、高度化、多様化する市民ニーズに対応し、より質の高い行政サービスを実現していくためには、職員一人一人が効率的かつ迅速、的確に判断、対応し、成果を上げていく必要があります。このためには、職員意識、資質の向上や個々の政策目的の達成に向けて意欲的に取り組む姿勢や責任感をもって取り組む姿勢の堅持、組織としての自発的、自浄的な行政改革など、積極的な自己改革、組織改革を図っていくことが重要であり、結果として、行政のスリム化・健全化につながるものと考えます。こうした視点に立って以下の質問をいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 効率的な行政運営を図る観点から、「無駄」をなくするための取り組みについて (2) 組織における横断的な連携、情報の共有について (3) 職員の現状と効率的な職員配置の考え方について (4) 各課所における目的設定の明確化及び職員個々の目的設定とその成果評価について (5) 行政のスリム化・健全化に向けての市の考え方について 	